



「藤原の人・自然・文化が好きになり、誇りに思う子どもを育てる」



ほつま 『秀真委員会』たより

発行: 藤原小・中学校『秀真委員会』

令和3年6月29日

第1回 環境整備ボランティア活動ありがとうございました

日頃は、藤原小・中学校秀真委員会の活動にご協力をいただきありがとうございます。

6月6日に予定通り、環境整備ボランティア活動を行うことができました。14名の方に参加していただきました。途中、にわか雨があったにもかかわらず、予定していた場所をきれいにさせていただきました。



校門付近の花壇



体育館南側植え込み



体育館東側



通学路坂道フェンス沿い

保護者や祖父、地域の人に参加してもらって、短時間で、環境整備が
終わりました。感謝です。子どものために、次回もお願いします。
環境整備支援リーダー 伊藤一昭

遊具北側除草

子どもたちが安心して学べるための環境整備支援です。一人でも多くの力をかけてください。

..... 切り取り線

9月4日(土)午前7時30分～環境整備支援 参加申込用紙 すでに申し込まれた方の提出は必要ありません。

()年 児童生徒名()

参加者 お名前(フリガナ)	
電話番号	(携帯)

お手数ですが、申込用紙をお子さんを通じて、学校にお届けください。

また、お電話で連絡いただくことも可能です。

申込用紙が未提出でも、ご都合がついた場合、当日参加も大歓迎です。

* 雨天の場合、5日(日)に順延 延期の場合は、スクール@めーるでお知らせします。

* 草刈り機の燃料・お茶は、事務局で準備します。道具がない方は、事務局の道具を使用してください。

藤原小・中学校CS推進事務局
山下秀人 伊藤史子
事務局 070-2638-7291

あいさつ運動 中学校生徒会・有志&とこまる君&秀真委員会



解散の時に、代表の生徒が「日常的にあいさつができる学校にしていきたいと思います。」と、しめくくってくれました。この3か月、廊下や駐輪場で中学生に出会うと、さわやかなあいさつをしてくれます。

ワクワクできる地域学校協働活動

学習支援5年田植え



学習支援1年さつまいもつるさし



Q&A

Q:『秀真委員会』はどんな組織？

A:学校の教育活動を支援し、『地域学校協働活動』を推進します。めざす子ども像(「藤原の人・自然・文化が好きになり、誇りに思う子ども」)

達成のために、趣旨や内容を保護者・地域に発信し、地域総ぐるみで子育てを行っていきます。学校は、地域の理解を得た教育ができ、子どもたちは、様々な経験を通して、藤原の「人」「自然」「文化」を好きになっていきます。参画する全員が、自分事として、やりがいをもって活動が進められる工夫をしていきます。地域みんなで、子どもたちの未来を考える組織です。

支援から協働へ

Q:なぜ、子どもを核とした『地域学校協働活動』が必要なの？

A:予測困難な時代を生き抜く子どもたちのために、社会総がかりで対応することが求められています。子どもたちの「生きる力」は、多様な人々とかかわり、様々な経験を重ねていく中で育まれます。学校だけで育まれるものではありません。子どもたちは、地域社会とのつながりの中で、絆を育み、豊かさやたくましさを身につけていきます。子どもたちの成長には、大人との多くのかかわりが不可欠です。現在の学校や子どもたち、家庭・地域が抱える課題を解決するためにも、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、社会総がかりでの教育の実現が必要です。まずは、学校と地域それぞれに互いを理解し合うことが大切です。

人とのかかわり